わかる、できる、役に立つ!!



VM30/3





やりたいこと別マニュアルガイド

バソコンの接続とセットアップをしたい STEP 1 接続と準備
マウスの使い方を知りたい
キーボードで文字を打ってみたい STEP 2 入門
ワープロを使いたい
インターネットを利用したい インターネット入門
FAX 機能を利用したい リファレンス
プリンタをつなぎたい
オプション機器を取り付けたい
Windows 95 について知りたい STEP 3 活用
デスクトップについて知りたい STEP 3 活用
パソコンの中に入っているソフトを使いたい リファレンス
このパソコンの機能について詳しく知りたい リファレンス
パソコンが思うように動かない 困ったときの Q&A
パソコン用語の意味を知りたい 困ったときの Q&A
マニュアル総索引を使いたい 困ったときの Q&A
再セットアップしたい



この本は、パソコンを買ったら最初にしなければならない、接続と準備について説明します。はじめてパソコンに触れる人でも、迷ったりすることなく、まちがえずに操作を進めていけるように作られています。

パソコンの箱を開けて、置き場所に迷ったりしたときか ら、この本があなたの役に立つはずです。はじめて電源を 入れ、パソコンを使えるようにするための準備作業につい ても、ていねいに説明しています。すでにパソコンを使っ たことがある方も、この本は、必ず読んでください。

1998年6月 初版

このマニュアルの表記について

手順は左、補足説明は右に

このマニュアルでは、操作手順は順番に画面を示しながら説明しています。実際のパソコンの画面を 確かめながら操作を進めてください。パソコンの画面でやたらにマウスを操作すると、思わぬ画面が 表示されることがあります。このマニュアルで、どこを操作すればよいのか必ず確認してください。ま た、ページの右側のグレーの部分には、操作に関連する補足説明や用語解説などが記載されています。 はじめてパソコンを扱うかたは、右側の説明もよく読んでください。

このマニュアルでは、パソコンを安全にお使いいただくための注意事項を次のように記載しています

▲ 警告 注意事項を守っていただけない場合、人が死亡または重傷を負う可能性が想定 されることを示します。



注意事項を守っていただけない場合、人が傷害を負う可能性が想定されること、または物的損害のみ発生が想定されることを示します。

注意事項を守っていただけない場合、発生が想定される障害または事故の内容 を表しています。左のマークは感電の可能性が想定されることを示していま す。このほかに、発火注意、けが注意、高温注意についても、それぞれ記載して います。

禁止事項を示します。



電源ケーブルのプラグを抜くように指示するものです。

1 *r*-*z*

アース線を必ず接続するように指示するものです。

このマニュアルで使用している記号や表記には、次のような意味があります





してはいけないことや、注意していただきたいことを説明しています。よく読ん で注意を守ってください。場合によっては、作ったデータの消失、使用している アプリケーションの破壊、パソコンの破損の可能性があります。

そこまでに説明した手順の中でとくに大切なポイントがまとめられています。後から応用するときのヒントとして利用してください。



パソコンを使うときに知っておいていただきたい用語の意味を解説していま す。

マニュアルの中で関連する情報が書かれている所を示しています。

このマニュアルの表記では、次のようなルールを使っています

[]	【 】で囲んである文字は、キーボードのキーを指します。
プリンタ、 コネクタなど	「プリンター」や「コネクター」などの末尾に付く「-」を省略して表記していま す。これは、パソコンの画面に表示される用語や、パソコン関連書籍などでよく 使われている表記に準拠しているためです。

このマニュアルでは、各モデル(機種)を次のような呼び方で区別しています

表をご覧になり、購入された製品の型名とマニュアルで表記されるモデル名を確認 してください。

このパソコン | 表の各モデル(機種)を指します。

ー太郎モデル 一太郎8、三四郎8、FullBandがあらかじめインストールされているモデルの ことです。

Word モデル Word、Excel、Outlookがあらかじめインストールされているモデルのことです。

		表記の区分			
型名	型番	本体の形状	CD-ROM/CD-R /DVD-ROM	ディスプレイ	添付アプリケーション
VM30/37C	PC-VM3037C	ミニタワータイプ	CD-ROM モデル	CRT ディスプレイセットモデル	一太郎モデル
VM30/37D	PC-VM3037D			(17 インチ CRT)	Word モデル

本文中の画面

本文中の画面はモデルによって異なることがあります。また、実際の画面と異なることがあります。

このマニュアルで使用しているアプリケーション名などの正式名称

(本文中の表記)	(正式名称)
Windows, Windows 95	Microsoft® Windows® 95 Operating System
一太郎 8	一太郎8 Office Edition /R.2
Excel, Word, Outlook	Microsoft® Excel 97 & Word 98 & Outlook™ 97 for Windows® (Outlook™ 98バージョンアップCD-ROM添付)

ご注意

(1)本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁じられています。

- (2)本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- (3)本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれ などお気づきのことがありましたら、ご購入元、最寄りの Bit-INN、または NEC パソコン インフォメーションセンターへご連絡ください。
- (4)当社では、本装置の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求につきましては、(3)項にかか わらずいかなる責任も負いかねますので、予めご了承ください。
- (5)本装置は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みや制御等の使用は意図されておりません。これら設備や機器、制御システムなどに本装置を使用され、人身事故、財産損害などが生じても、当社はいかなる責任も負いかねます。
- (6)海外 NEC では、本製品の保守・修理対応をしておりませんので、ご承知ください。
- (7)本機の内蔵ハードディスクにインストールされている Microsoft® Windows® 95 および 本機に添付の CD-ROM、フロッピーディスクは、本機のみでご使用ください。
- (8)ソフトウェアの全部または一部を著作権の許可なく複製したり、複製物を頒布したりすると、 著作権の侵害となります。

Microsoft、MS、MS-DOS、Windows、Outlook、およびWindowsのロゴは、米国Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

一太郎、ATOK は、株式会社ジャストシステムの登録商標です。

「一太郎Office8」は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、「一太郎Office8」にかかる著作権、その他の権利はすべて株式会社ジャストシステムに帰属します。

商標「三四郎」は、株式会社エス・エス・ビーの登録商標であり、株式会社ジャストシステムは商標使用許 諾を受けています。

VirusScan は、米国 Network Associates 社および関連会社の商標または登録商標です。

その他、本マニュアルに記載されている会社名、商品名は各社の商標または登録商標です。

© NEC Corporation 1998 日本電気株式会社の許可なく複製・改変などを行うことはできません。

輸出する際の注意事項

本製品(ソフトウェアを含む)は日本国内仕様であり、外国の規格等には 準拠しておりません。本製品は日本国外で使用された場合、当社は一切責 任を負いかねます。また、当社は本製品に関し海外での保守サービスおよ び技術サポート等は行っておりません。



はじめに	i
このマニュアルの表記について	ii

パソコンを置く場所を決めよう 1

置き場所を決める	2
パソコンを置くのに適した場所	2
パソコンを置くのに必要な広さ	3
インターネットするなら、パソコンは電話の近くに	4
パソコンを置くのに適さない場所	5
パソコンの近くに置いてはいけないもの	5
電源の取り方	7
パソコンに必要な電源	7
パソコンの置き方	8
パソコン本体の梱包箱からの取り出し方	8
接続する前に	1 0
パソコンの周囲に添付品を置く	1 2
型番と製造番号を確認する	1 2

パソコンを接続する......13

接続するときの注意 14
キーボードを接続する 15
キーボードの足を立てる16
マウスを接続する 17
ディスプレイを接続する 18
マイクロホンを接続する
マイクスタンドを組み立てる20
パソコン本体にマイクロホンを接続する
スピーカシステムを接続する
フラットパネルスピーカを組み立てる
フラットパネルスピーカをサブウーファに接続する
サブウーファをパソコン本体に接続する
フラットパネルスピーカをディスプレイに取り付ける
フラットパネルスピーカを壁に取り付ける
常託回線に接続する 28





PART



電話機のケーブルにノイズ除去用部品を取り付ける	28
電話機をパソコンにつなぐ	29
添付のモジュラーケーブルにノイズ除去用部品を取り付ける.	30
パソコンを電話回線につなぐ	
アースを接続する	32
電源ケーブルを接続する	3 4
電源ケーブルを確認する	
ディスプレイ用電源ケーブルを接続する	
フラットパネルスピーカシステムの AC アダプタを接続する.	36

PART



電源を入れてパソコンを使えるようにする 3 9

電源を入れる	4 0
名前を打ち込む	4 3
マウスを動かしてみる	4 3
ローマ字が打てるようにする	4 4
自分の名前をローマ字で打ち込む	46
「次へ」をクリックする	47
WindowsのProduct ID を入れる	4 8
使用許諾契約に同意する	4 8
Product ID(プロダクト アイディ)を入れる	4 9
残りの手順を進める	5 1
「ようこそ Microsoft Internet Explorer」の画面を閉じる	5 1
ValueStar の設定を行う	5 2
マウスを使ってパソコンの電源を切る	5 4
パソコンの電源を入れ直して確認する	5 6
もう一度、パソコンの電源を切る	5 8
正規ユーザーの登録を行う	6 0



付録	
こんなときは	6 2
ローマ字つづり一覧	6 4
索引	

パソコンを置く場所を決めよう

まず最初にパソコンを置く場所を決めましょう。 パソコンは精密機械ですから、置き場所につい てはいくつか気をつけなければいけないことが あります。説明をよく読んで置き場所を決めた ら、梱包箱からパソコンを取り出します。



置き場所を決める

まず、パソコンを置く場所を決めましょう。パソコンに は、置くのに適した場所、適さない場所があります。また、 パソコンの近くに置いてはいけないものもあります。

▲注意



液体がかかる場所や湿気の多い場所に置かないでくだ さい。

パソコンを、水や油などの液体がかかる場所、湯気が かかる場所、湿気の多い場所に置くと、感電の原因に なります。



パソコンを屋外に置かないでください。

また、船舶、車輌などの内部では使用しないでください。

感電、火災の原因になります。



パソコンを置くのに適した場所



パソコンを置くのに必要な広さ

パソコンを置くだけなら、およそ70cm × 50cmの広さがあればすみま す。しかし実際には、キーボードやマウス、スピーカ、サブウーファを置く 場所や、配線のためのスペースも必要です。



本体の右側には通風孔があるので、 ディスプレイは本体の左側に置きます。

本体の後ろ側には通風孔があるので、 壁などから最低でも15cm離す必要 があります。しかし、それだけではあ とで配線をするときに大変です。 50cm程度の余裕があれば、パソコ ンの後ろ側がよく見えるので、接続 の作業が楽になります。

キーボードを置くためには、約 20cm必要です。その上、ゆったりと キーを打つためには、さらに約10~ 20cmの余裕があったほうがよいで しょう。

意外に忘れがちなのが、パソコンの 上の空間です。ディスプレイの上側 にも通風孔があるので、通風孔と棚 の天板などとの間を最低でも15cm あけてください。また、ディスプレイ の上に物を置かないようにしてくだ さい。

本体の右側には通風孔があるので、 壁などから最低でも15cm離してく ださい。また、周辺機器を使うときも 通風孔をふさがないように注意して ください。

インターネットするなら、パソコンは電話の近くに

インターネットなど、パソコンの通信機能を利用するには、パソコンを電 話線に接続する必要があります。あらかじめ電話機のそばにパソコンを設 置しておくことをお勧めします。また、電話回線の接続口によっては、パソ コンを接続できない場合があるので確認しておきましょう。





電話機の本体から電話線をたどって いくと、電話回線の接続口を見つけ ることができます。図のように電話 回線を簡単に取り外せるような接続 口(モジュラーコンセントと呼びま す)になっていない場合、電話工事が 必要になることがあります。詳しく は、お近くの電話工事店またはNTT にお問い合わせください。

電話線のプラグには、上下のどちら かにツメが付いています。このツメ を指でつまんで押さえるようにする と、簡単に抜くことができます。



このパソコンを電話回線に接続する ためのケーブルは、2mの長さのも のが付属しています。それよりも離 れた場所にパソコンを設置する必要 がある場合には、電気店またはパソ コン販売店などで、3mまたは5mの 長さの「モジュラーケーブル」をお買 い求めください。







PART パソコンを置く場所を決めよう



電源の取り方

パソコンの電源の取り方はとても大切です。コンセント の位置や数をよく確認しておきましょう。

<u> 注</u>意



電源ケーブルが折れ曲がらないようにしてください。 電源ケーブルが折れ曲がると、ケーブルに傷がついて、感電や火災の原因になります。



AC100V(50/60Hz)の電源が使える場所に置い てください。

- AC100V(50/60Hz)以外の電圧で使用すると、
 感電、発煙、火災の原因となります。
- ・タコ足配線にならないように、コンセントから直接 電源が取れる場所に置いてください。
- ・電源ケーブルやACアダプタをタコ足配線にする と、コンセントが過熱して火災の原因になります。

パソコンに必要な電源



パソコン本体の電源、ディスプレイ の電源、スピーカの電源それぞれを 取ります。電源はコンセントから直 接取ってください。コンセントが足 らず、パソコン用のテーブルタップ等 を使う場合も、コンセントとテーブ ルタップの電流容量を必ず守ってく ださい。

テレビ、ラジオなどと同じコンセン トを使うと、テレビ、ラジオに雑音が 入ることがあります。

コンセントにアース端子がない場合 は、他の方法でアースを取っても構 いませんが、その場合は必ずお近く の電気店など電気工事士の資格を 持った人にアース端子付きコンセン トの取り付けを相談してください。

パソコンの置き方 🎝

パソコンを箱から取り出すときは、2人で作業してくだ さい。持ち運んだり置いたりするときは慎重に。



パソコン本体を取り出すときは、衝撃吸収用の段ボー ルを持って取り出さないでください。また本体前面の スライドパネル部分を持って取り出さないでください。 衝撃吸収用の段ボールを持って取り出すと、パソコン 本体が抜け落ち、けがやパソコン本体の破損の原因と なります。

パソコン本体の梱包箱からの取り出し方



パソコン本体を取り出したら、衝撃 吸収用の段ボールを引き抜きます。 次に、ビニール袋から取り出すとき も、パソコン本体に衝撃を与えない よう、2人で慎重に行ってください。

机の上やパソコンラックなど、あら かじめ決めておいた設置場所に置い てください。

PART パソコンを置く場所を決めよう





マイクロホン、マイクホルダー、マイ クスタンドは、透明のビニール袋に 入っています。ビニール袋から取り 出しておきましょう。 ディスプレイ梱包箱に入っているもの



スピーカの梱包箱に入っているもの 「スピーカセット収納箱」と印刷されている箱に一式が入っています。



フラットパネルスピーカをディスプ レイに取り付けるときは、次の添付 品も準備しておきます。

・アタッチメント



他に、プラスドライバを準備してく ださい。アース線の接続に必要です。



だいぶパソコンらしい姿になってきましたね。それぞれの接続方法については、次の PART で説明しています。





✓ チェック!!

本体背面と保証書の記載が異なって いた場合は、ご購入元に連絡してく ださい。

保証書は、ご購入元で所定事項をご 記入のうえ、お受け取りになり、保管 してください。保証期間中に万一故 障した場合は、保証書記載内容にも とづいて修理いたします。保証期間 後の修理については、ご購入元また は、NECサービスセンター、サービ スステーションにご相談ください。 修理によって機能が維持できる場合 は、お客様のご要望により有償修理 いたします。詳しくは、保証書をご覧 ください。



キーボードやディスプレイなど、必要な機器を 接続しないと、パソコンは働いてくれません。テ レビやビデオと違って、いろいろなデータを扱 うことができるパソコンの場合、ケーブルの接 続口も独特の形のものが使われています。この あとの説明をよく読んで慎重に接続していきま しょう。





プリンタや別売の周辺機器がある場合、まだ接続しないでくだ さい。この本のPART3「電源を入れてパソコンを使えるよう にする」の操作を先に完了させる必要があります。そのあとで 『拡張の手引き』をご覧になり、接続と設定を行ってください。



PART パソコンを接続する



⊷の付いた面を右側にして差し

込む

前面のコネクタにも接続できる

キーボードを接続するコネクタは、 パソコン本体の前面(右下)にもあり ます。こちらのコネクタも、同じよう に利用できます。前面のコネクタに 接続するときは、←の見える方を左 に向けます。

1 参照

パソコン本体前面のコネクタの位置 『リファレンス』付録「本体の各部 の名称(ミニタワータイプ)」

✓ チェック!!

キーボードのプラグは、力を入れて 無理に差し込まないでください。力 を入れなくてもスムーズに差し込め ます。うまくいかないときは、もうー 度プラグの方向(左右の向き)を確認 してください。

キーボードの足を立てる

キーボードの足を立てると、キーボードをしっかり安定するだけでなく、 長時間キーを打っても、疲れにくくなります。



キーボードは足を立てずに使用することもできます。その場合、キーボードのケーブルを「ケーブル用の溝」に押し込むと、安定します。







ディスプレイ用電源ケーブルは、まだ接続しないでください。マイクロホンや電話回線などを先に接続する必要があります。



ディスプレイ用電源ケーブルを接続するには、このマニュアルの「ディスプレイ用電源ケーブルを接続する」(P.35)をご覧ください。

✓ チェック!!

ディスプレイのプラグは、奥まで しっかり差し込んでください。差し 込み方が浅い場合、うまくネジ止め できないことがあります。

✓ チェック!!

プラグのネジは、両方均等に力を加 えながら締めてください。片方だけ 締めると、接続不良になることがあ ります。

マイクロホンを 接続する

マイクスタンドを組み立てて、マイクロホンをセットします。それからマイクロホンのプラグをパソコン本体背面のコネクタに差し込みます。

用語⊘

マイクロホン

パソコンに自分の音声を送る道具 です。インターネットでカラオケ を楽しむときや、このパソコンを 電話代わりに使うときなどに、こ のマイクロホンを使用します。

マイクスタンドを組み立てる



マイクホルダーをマイクスタンドに 取り付けるときは、少し力を入れて 押し込むようにしてください。

パソコン本体にマイクロホンを接続する



PART 2 パソコンを接続する

スピーカシステムを 接続する

スピーカから出ているケーブルの端(プラグ)を、サブ ウーファの背面にある端子に接続します。その後、サブ ウーファとパソコン本体の背面にあるスピーカ端子を接 続します。

用語

スピーカシステム

パソコンから音を出すための機器 です。パソコンが鳴らす注意・警告 音は、スピーカシステムから出ま す。また、ゲームを楽しむときなど にも使います。

フラットパネルスピーカを組み立てる



✓ チェック!!

- ・カチッと音がするまでしっかりと はめ込んでください。
- ・スピーカの前面パネルにはさわら ないでください。



ここまでの接続が終わるとフラットパネルスピーカとサブウーファは 次のように接続されます。



💙 チェック 🧶

フラットパネルスピーカのケーブル の根元(パネル側)に「R」と書かれた 方を右側に、「L」と書かれた方を左側 に置きます。









フラットパネルスピーカシステムの ACアダプタを接続するには 本書(p.36)

フラットパネルスピーカをディスプレイに取り付ける

フラットパネルスピーカは、接着テープを使ってディスプレイに取り付けることもできます。



✓ チェック!!

- ディスプレイに取り付けたスピー カで大音量を出すと、ディスプレ イの画面の一部が揺れることがあ ります。このときは、ボリュームを 下げてください。
- ディスプレイに取り付けたアタッ チメントからフラットパネルス ピーカを取り外すときは、接着 テープがはがれないように、ア タッチメントを手で押さえてくだ さい。

🌱 チェック 🧶

- スピーカのケーブルの根元とア タッチメントのジョイント部にあ る文字が同じもの(LとL、RとR) を合わせてください。
- カチッと音がするまでしっかりと はめ込んでください。
- スピーカの前面パネルにはさわら ないでください。



✓ チェック!!

- フラットパネルスピーカのケーブ ルの根元に「R」とかかれた方を右 側に、「L」とかかれた方を左側に 貼り付けます。
- ・通風孔などをふさがない位置に貼 り付けてください。
- ディスプレイの貼り付ける位置が 汚れているときは、汚れをふき とってください。
- ・貼り付ける際、アタッチメントの
 貼り付け面をディスプレイに押し
 つけ、接着テープをディスプレイ
 に密着させてください。
- ・貼り付けてから2~3時間ははが れやすいので、フラットパネルス ピーカに力を加えないようにして ください。

フラットパネルスピーカは折りたた むことができます。使わないときは 折りたたんでおくとじゃまになりま せん。

フラットパネルスピーカを壁に取り付ける

フラットパネルスピーカはアタッチメントを壁にネジなどで取り付けることもできます。



ネジはこのパソコンには添付されて いません。別途購入が必要です。

✓ チェック!!

接着テープを使って壁に取り付けな いでください。
電話回線に接続する 🚽

インターネットを利用する場合や、このパソコンでFAX を送ったり電話機能を使ったりする場合には、電話回線 に接続する必要があります。最初に、いまお使いの電話 機を取り外してからパソコンにつなぎ換えます。次に、 パソコンを直接電話回線に接続します。この操作を行っ ても、電話機はいままで通り使えます。 インターネットやパソコンを使った FAXの送受信などを利用しない場 合、電話回線に接続する必要はあり ません。

<u>▲</u>注意

4 モジュラーケーブル(電話線)の取り外しや接続を行
うときは、プラグの端子部分に触れないでください。
感電の原因となります。

電話機のケーブルにノイズ除去用部品を取り付ける





モジュラーケーブル(電話線)のプラ グには、上下のどちらかにツメが付 いています。このツメを指でつまん で押さえるようにすると、簡単に抜 くことができます。

✓ チェック!!

電話機のモジュラーケーブルを取り 外すと、パソコンを電話回線に接続 するまでの間、電話機は使用できな くなります。

ノイズ除去用部品は、2 個添付され ています。電話機には1 個だけ取り 付けます。

PART 2 パソコンを接続する





ノイズ除去用部品は、モジュラー ケーブルの端から、約3cmのところ に取り付けてください。







✓ チェック∜

- アース線は水道管につながないで ください。アースできない場合が あります。
- アース線は、電話専用のアース端
 子に接続しないでください。電話
 に雑音が入る場合があります。
- アース端子付きのコンセントが利用できない場合には、お近くの電気店など電気工事士の資格を持つ人にアース端子付きコンセントの取り付けをご相談ください。



電源ケーブルを 🐇 চিত $\overline{\mathbf{II}}$ 接続する

添付品の接続が終わったら、電源ケーブルを接続しま しょう。最初にディスプレイの電源ケーブルとサブウー ファのACアダプタを接続し、最後にパソコン本体の電 源ケーブルを接続します。

⚠ 注意





電源ケーブルを確認する

ディスプレイ用電源ケーブルは、ディスプレイの箱に入っていたものをお 使いください。



パソコン本体用電源ケーブルは、パソコンに添付のものをお使いください。



PART 2 パソコンを接続する







パソコン本体の電源ケーブルを接続する



電源ケーブルは、パソコン本体の添 付品収納箱に入っていたものをお使 いください。





まだ、電源スイッチを押さないでください。電源スイッチを入れる操作については、このあとのPART3「電源を入れてパソコンを使えるようにする」で説明しています。

✓ チェック!!

電源ケーブル、電話回線の接続に 使ったモジュラーケーブルなどが、 人の通る場所にないことを再確認し てください。ケーブルを足に引っか けたりすると、パソコンの故障の原 因になるだけでなく、思わぬけがを することもあります。



パソコンの接続は終わっていますね。それでは、 いよいよ電源を入れます。最初に電源を入れる ときは、自分の名前などを登録するセットアッ プ作業が必要です。この作業が終わらないと、パ ソコンは使えるようになりません。このあとの 説明をよく読んで、ゆっくり確実に操作してく ださい。





電源を入れる

ディスプレイ、サブウーファ、パソコンの順に電源ス イッチを押していきます。電源を入れてから、パソコン を使えるようにするための準備が完了するまで、約30 分程度かかります。

> 添付の『Microsoft Windows 95 ファー ストステップガイド』でProduct IDを調べ て、このマニュアルの 49 ページの記入欄に メモしておく



Product ID

パソコンの使用者名を決めて46ページの記入欄に ローマ字でメモしておく(文字数は14文字まで)



ディスプレイの電源ランプが点灯する

Product ID を調べる

『Microsoft Windows 95 ファース トステップガイド』は、このあとの手 順で、WindowsのProduct IDをパ ソコンに登録するときに必要になり ます。添付品収納箱の中から、ビニー ルに包まれた本を探してください (この包みは、そのまま大切にとって おきます)。



このあとの手順で、キーボードを

このあどの手順で、キーホートを 使って名前を打ち込む必要がありま す。そのときに迷わないように、いま から決めておきましょう。通常は、使 用者名とは、あなたの名前のことで す。このパソコンを複数のかたが使 う場合は、代表になる人の名前でよ いでしょう。

2



最初の30秒ぐらいは、パソコンが自動的に内部をチェックするので、画面の表示がいろいろ変化します。左の画面が出るまで、何もせずに待ってください。



セットアップ

パソコンを使えるようにすること を、セットアップといいます。セッ トアップが終わると、ワープロ、表 計算、ゲーム、インターネットな ど、このパソコンの様々な機能が 使えるようになります。



ракт З віледности ракт Вала в странов в спределення в спределенна в спределення в спределення в спределення в спределення в сп



このパソコンをあなたのパソコンとして登録します。それには、画面の中の決められた欄に、ローマ字で名前を 打ち込みます。でも、その前にマウスに触れてみましょう。

マウスを動かしてみる



チェック??
マウスの上にある左右のボタンは、
まだ押さないでください。

マウスを動かすために、マウスの前 後左右に10cm位のスペースをあけ ておいてください。

マウスは、親指と薬指で軽くつかん で机の上を滑らせるように動かしま す。肩の力を抜いて、手首だけで動か すようにすることがコツです。

ローマ字が打てるようにする

Alt を押したまま、^(半角)を押すと、ローマ字(アルファベット)が打てるようになります。

画面右下に下の図のような表示があることを確かめる

✓ チェック!!

日本語入力に慣れた方へ

すでにパソコンを使って、日本語入 力の操作に慣れているなら、ローマ 字で名前を入力する必要はありませ ん。自分の名前を入力して「次へ」を クリックしたら、本書の「Windows の Product IDを入れる」(p.48)に 進んでください。





画面右下の表示が消える

◆Shift を押したまま (CapsLock 英数)を押すと、打ちこまれるアルファベットが小 文字から大文字に切り替わります。ここでは大文字で名前を打っていきま す。









✓ チェック!? 同じ操作が何度も試せる

手順2~4までの操作は、何度でも 試すことができます。同じ操作を繰 り返すと、画面右下の表示が出たり 消えたりします。一度でうまく画面 右下の表示が消えなかった場合も、 同じ操作を繰り返してみてください。



自分の名前をローマ字で打ち込む

下の記入欄でパソコンの使用者名のロー マ字つづりを確認する



同じ文字が続けて打ち込まれたとき (間違った文字が入ったとき) 文字のキーは、押したらすぐに離すことが大切です。キー を押したままにしていると、同じ文字が連続して入ってし まいます。そのときは、右の図のキーを押してください。 後ろから文字を消すことができます。文字を間違えて打っ たときも、このキーで修正できます。 文字を間違えたら、【BackSpace】を押して後ろから 消していく。 アルファベットは全部大文字で書いて ください。普通は名前、苗字の順番で すが、日本式に苗字、名前の順番でも かまいません(入力できる文字は14 文字までです)。

1 参照

ローマ字のつづりがわからないとき は 本書「付録」「ローマ字つづり一 覧」(p.64)



ракт З авехлиси у страни в ракт ${\bf S}$

苗字と名前の間を空けるときは、下 図のキーを押します。このキーは、空 白(スペース)を空けるときなどに使 うので「スペース」キーと呼びます。



個人で使用する場合、会社名の欄に は何も入れる必要がありません。会 社で購入した場合などは、会社名の 欄の内側までマウスで矢印を移動し て、そこで左ボタンを一度押します。 次の図のように、会社名の欄の左端 に「|」が点滅するのを確認してくだ さい。次にAtb(オルトキー)を押し たまま、(****)(半角/全角キー)を押し ます。あとは名前と同じようにアル ファベットで会社名が打てます。

会社名(2):

「次へ」をクリックする

5



同じようにして、自分の名前

名前(<u>A</u>):

自分の名前が入力できたこと

下記のボックスに名前を入力してください。

「ICHIROU MITA」の場合なら、このようになる

ICHIROU MITA

をすべて打つ

を確認する

用語》

クリック

画面の文字や絵などに矢印を合わ せ、マウスの左ボタンを1回押す 操作を「クリック」といいます。「ク リック」は、マウスを使うときの最 も基本的な操作方法なので、この あとの手順でも同じ操作が何度も 出てきます。しっかりマスターし てください。

Windowsの **3**00 Product ID を入れる

パソコンを使えるようにするための操作を続けましょう。手順説明にしたがって、ゆっくり、確実に操作を進めてください。

使用許諾契約に同意する



使用許諾契約とは?

このパソコンを使えるようにするに は、パソコンに入っているソフト ウェアを違法にコピーして他人に渡 したりしないという契約に同意しな ければなりません。同意していただ けない場合は、このパソコンを使う ことができません。

契約書の文章が表示された欄の右に ▼ があります。この ▼ の上に矢印 を合わせてクリックすると、続きを 読むことができます。このように画 面の内容を動かして、続きを見るこ とを「スクロール」と呼びます。

参照

スクロールについて 『STEP 2 入門』PART3「ウィンドウの扱いを マスターしよう」

ここで、クリックする (マウスの左ボタンを1回押す)



Product ID(プロダクト アイディ)を入れる





Product IDに印刷されている Øの 文字は、数字の0(ゼロ)です。



次ページの最初の画面に変わる

「入力された番号は無効です」と 表示されたら

数字を入れ間違えて「次へ」をクリックすると、「入力され た Certificate of Authenticityの番号は無効です」と いう画面が表示されます。「再入力」をクリックすると、再 度 Product ID を入れる画面に戻ります。

まず、『Microsoft Windows 95 ファーストステップガ イド』の表紙を見て、画面に表示されている Product ID の番号が正しいか確認してください。間違っていたら、番 号を間違えた欄の右端に矢印の先端を合わせ、クリックし ます。そのあと【BackSpace】を押して、後ろから数字を 消していき、正しい番号を打ち直してから、もう一度「次 へ」をクリックしてください。

数字は続けて打つ

画面には3 つの入力欄があります が、数字キーを打っていくと、自動的 に次の欄に数字が入っていきます。 「OEM」や「- (ハイフン)」は、打つ 必要がありません。

テンキーから数字が入らないときは [NumLock]

間違ってテンキーの左上にある 【NumLock】を押してしまうと、 キーボードの1の下のランプが消え て、数字が打てなくなってしまいま す。100下のランプが消えていると きは、【NumLock】を押し、ランプを 点灯してください。



打ち込んだ番号に間違いがあったら

【BackSpace】を押すと、後ろから 番号の数字が消えていきます。間違 いのあった所まで後ろから消してい き、そこから正しい番号を打ち直し てください。

✓ チェック!! 0(ゼロ)と0(オー)に注意!

数字の「0(ゼロ)」と英文字の「O (オー)」は、よく似ているので注意が 必要です。また、数字の「1」と英文字 の「(アイ)」を間違えていないか、ど こかに余分なスペース(空き)が入っ ていないかなどにも注意してくださ 11.

残りの手順を進める



パソコンの操作はあわてずに!

ここまでにも、【Enter】を押したりマウスをクリックしたあと、画面が次 に切り替わるまで、少し時間がかかったことがありました。これは、パソコ ンの内部で設定などの準備処理が行われているためです。 💹 が出ていると きは、キーを押したり、マウスのボタンを何度もクリックしたりしないよ うにしてください。



「完了」をクリックすると、途中で画 面が真っ暗になり、自動的に電源を いれたときとおなじような画面に変 わります。その後何度か画面が変わ り、「ようこそ Microsoft Internet Explorer」の画面が出るまで、約1~ 2 分ほどかかります。何も操作せず に待ってください。

「ようこそ Microsoft Internet Explorer」の画面を閉じる

ここでは、次のように操作して「ようこそMicrosoft Internet Explorer」 の画面を閉じてください。



「ようこそ Microsoft Internet Explorer」の画面は、あとから見る ことができます。

1 参照

「ようこそ Microsoft Internet Explorer」の画面を表示するには 『困ったときのQ&A』の「PART1 ト ラブル解決Q&A」

の上に矢印を持ってくると、矢印の形がしからや)に変わります。

ValueStar**の** 設定を行う

ここでは、パソコンを使えるようにするための、最後の 手順を説明します。 この手順を行わないと、このパソコンの機能のうち、使 えない機能が出てきます。

എ



上の画面が表示されたあとは、このマニュアルで説明された部 分以外、クリックしないように注意してください。間違って別 の場所をクリックしてしまい、このマニュアルに載っていない 画面が表示された場合、次のいずれかの操作を行って、表示さ れた画面を消してください。

- 1. キーボードの左上にある【Esc】を押してみる。
- 2.「キャンセル」または「いいえ」と書かれたボタンが画面上 にあったらマウスでクリックする。
- 3. 画面の右上に X がある場合、そのボタンをマウスでクリックする。

ракт З вільського в в страни в страни



マウスを使ってパソコンの電源を切る

パソコンのセットアップ(最初に電源を入れて使えるようにする作業)の 最後に、パソコンの電源を切る必要があります。





パソコン本体の電源が切れると、 ディスプレイの画面も消えますが、 電源が切れたわけではありません。 就寝前や外出時など長時間パソコン を使わない場合は、ディスプレイの

ー瞬「しばらくお待ちください」と表示されたあと、自動的にパソコン本

パソコン本体の電源が切れると電源

ċ

電源ランプ

体の電源が切れます。

ランプが消灯します。

._____

0 —



ディスプレイの電源ランプが消灯する

サブウーファの電源ランプが消灯する これになっておきましょう。

これでセットアップの作業は完了です。

パソコンの電源を入れ直して確認する

パソコンの電源を入れ直して、正常に動くことを確認しておきましょう。



ディスプレイの電源ランプが点灯し ていないときは、本体の電源スイッ チを押す前にディスプレイの電源ス イッチを押してください。



NEC のマークや Windows のマークなどが出たあと、約1~2分で上図の画面が表示されれば、正しくセットアップが行われています。

ракт З вільськи случить в ракт ${\bf S}$

20分以上放置すると、画面が真っ暗になる

キーボードのキーに何も触れなかったり、マウスを動かさな かったりする状態が20分以上続くと、自動的に画面が真っ暗 になります。これはディスプレイをつけたままにして無駄な電 力を使わないように、省電力機能が働くためです。この場合、 電源スイッチの下のスリープボタンを押すと元に戻ります。

最初は、パソコン内部の設定が変更できない モードになっている

このパソコンは、購入したままの状態では、誤ってパソコン内 部の設定を変更してしまうことがないように「ベーシックモー ド」という状態で起動されます。「ベーシックモード」では、パ ソコン内部の細かな設定を変更することができません。これら の設定を変更する場合、CyberTrio-NXというソフトを使って 「ベーシックモード」から「アドバンストモード」に変更する必 要があります。

必要に応じて、パソコンを守る設定を行う

このパソコンには、プログラムやデータを守るためのソフトが 入っています。CyberWarner-NXは、パソコンの動作に影響 を与えるファイルが誤って削除されたり変更されないようにし ます。VirusScan for Windows 95は、フロッピーディスク やインターネットを経由してウィルス(パソコンの動作に悪影 響のある不正なプログラム)が感染することを防ぎます。必要 に応じて、これらのソフトの設定を行ってください。



✓ チェック!!

省電力機能が働くとスリープランプ (スリープボタンの上にあります)が 点灯します。

1 参照

省電力機能 『リファレンス』PART 5 の「サスペンド / レジューム機能」

1 参照

CyberTrio-NX 『リファレンス』 PART1の「Windows 95の利用環 境の変更 < CyberTrio-NX > 」

1 参照

CyberWarner-NX 『リファレン ス』PART1の「Windows 95の動 作の監視 < CyberWarner-NX >」 VirusScan for Windows 95 『リ ファレンス』PART1の「ウィルスの 検査と駆除 < VirusScan for Windows 95 >」

もう一度、パソコンの電源を切る

最後に、もう一度電源を切って作業を終わりにしましょう。



✓ チェック!!

画面の右下には、現在の時刻が表示 されています。この時刻を正確に合 わせることができます。

1 参照

日付と時刻を合わせるには 『困っ たときのQ&A』の「PART1 トラブ ル解決Q&A」



ー瞬「しばらくお待ちください」と表示されたあと、自動的にパソコン本体の電源が切れます。

パソコン本体の電源が切れると、 ディスプレイの画面も消えますが、 電源が切れたわけではありません。 就寝前や外出時など長時間パソコン を使わない場合は、ディスプレイの 電源スイッチを押して、電源を切っ ておきましょう。



ディスプレイの電源ランプが消灯する

正規ユーザーの登録を行う

パソコンが使えるようになったら、正規ユーザー(980FFICIAL PASS メンバー)への登録を必ず行ってください。登録には、ハガキまたはFAX で「お客様登録申込書」を送る方法と、インターネットに接続して登録する 方法があります。

ハガキまたはFAX を送る

まだパソコンの操作に慣れていない方は、ハガキまたはFAX での登録を お勧めします。添付品収納箱の中に「980FFICIAL PASS お客様登録申 込書」が入っています。記入方法などについて、詳しくは「980FFICIAL PASS お客様登録申込書」をご覧ください。

インターネットに接続して登録する

すでにパソコンやインターネット利用の経験がある方は、インターネット に接続して登録することができます。インターネットに接続する方法につ いては、『インターネット入門』をご覧ください。次のページから登録が可 能です。

980FFICIAL PASSお客様カウンター

http://www.pc98.nec.co.jp/register/



一息入れたら、『STEP 2 入門』に進んで、マウスやキーボードを練習してみましょう。

980FFICIAL PASS お客様カウン ターは、Internet Explorer の「お気 に入り」に登録されています。





こんなときは

本書の「PART3 電源を入れてパソコンを使えるようにする」で、電源を入れたあと、困ったことが起きたときは、次の説明を参考に対処してください。



キーボードが正しく接続できていない可能性があります。キーボードの接続を確認して、キーボードケーブルを再度接続口に差し込んでみてください。

●照 PART2の「キーボードを接続する」(p.15)

画面の文字入力欄に「|」が点滅していないと、文字を入れることはできません。マウスで矢 印を入力欄に合わせ、クリックしてください。「|」が点滅したら文字を入れてください。





文字が入力できるのに、テンキー(キーボード右側で、電卓のように数字が並んだ所) を押しても数字が入らないときは、キーボードの①の下のランプが消えています。 【NumLock】を押して、ランプを点灯してください。

自分の名前を漢字で入れたいとき

はじめてパソコンを利用されるかた、ワープロを使った経験のないかたは、本書の説明 にしたがってローマ字(アルファベット)で名前を入れるようにお勧めします。漢字に 変換する方法は、『STEP 2 入門』の「PART4 キーボードに慣れよう(一太郎編)」ま たは「PART5 キーボードに慣れよう(Word 編)」または「PART8 キーボードに慣 れよう(ワードパット編)」で説明していますが、名前によっては、一度で正しい漢字に 変換できない場合があります。



ValueStarの設定を終わったあと、キーボードのキーに何も触れなかったり、マウスを動か さなかったりする状態が20分以上続くと、自動的に画面が真っ暗になります(このときス リープランプはオレンジ色に点灯しています)。これは、ディスプレイをつけたままにして無 駄な電力を使わせないように、省電力機能が働くためです。この場合、スリープボタンを押す と元に戻ります。(元に戻るとスリープランプは消灯します)



省電力機能 『リファレンス』PART5の「サスペンド/レジューム機能」


ローマ字つづり一覧

あ	11	う	え	お	だ	ぢ	ブ	で	ど
а	i	u	е	0	da	di	du	de	do
					ば	び	isi	ベ	ぼ
	(yi)	(wu)			ba	bi	bu	be	bo
か	き	<	け	C	ぱ	ぴ	<i>ب</i> کار	ペ	ぽ
ka	ki	ku	ke	ko	ра	pi	pu	ре	ро
さ	し	す	せ	そ	きゃ	きぃ	きゅ	きぇ	きょ
sa	si	su	se	SO	kya	kyi	kyu	kye	kyo
	(shi)				しゃ	しい	しゅ	しぇ	しょ
た	ち	つ	て	と	sya	syi	syu	sye	syo
ta	ti	tu	te	to	(sha)		(shu)	(she)	(sho)
	(chi)	(tsu)				ちぃ	ちゅ	ちぇ	ちょ
な	に	な	ね	の	tya	tyi	tyu	tye	tyo
na	ni	nu	ne	no	(cha)	-	(chu)	(che)	(cho)
は	ひ	131	\sim	ほ	(cya)	(cyi)	(cyu)	(cye)	(cyo)
ha	hi	hu	he	ho	にゃ	にい	にゅ	にぇ	にょ
		(fu)			nya	nyi	nyu	nye	nyo
ま	み	む	め	も	ひゃ	ひぃ	ひゅ	ひぇ	ひょ
ma	mi	mu	me	mo	hya	hyi	hyu	hye	hyo
せ	61	Þ	いえ	よ	みゃ	みぃ	みゅ	みぇ	みょ
уа	yi	yu	ye	уо	mya	myi	myu	mye	myo
6	IJ	3	れ	3	りゃ	りぃ	りゅ	りぇ	りょ
ra	ri	ru	re	ro	rya	ryi	ryu	rye	ryo
わ	うい	う	うぇ	を	ぎゃ	ぎぃ	ぎゅ	ぎぇ	ぎょ
wa	wi	wu	we	WO	gya	gyi	gyu	gye	gyo
ю					じゃ	じぃ	じゅ	じぇ	じょ
nn					zya	zyi	zyu	zye	zyo
が	ぎ	Ś	げ	ご	(ja)	-	(ju)	(je)	(jo)
ga	gi	gu	ge	go	(jya)	(jyi)	(jyu)	(Jye)	(jyo)
ざ	じ	ず	ぜ	ぞ					
za	zi	zu	ze	ZO					
	(ji)								

ぢゃ	ぢぃ	ぢゅ	ぢぇ	ぢょ
dya	dyi	dyu	dye	dyo
でゃ	でぃ	でゅ	でぇ	でょ
dha	dhi	dhu	dhe	dho
びゃ	びぃ	びゅ	びぇ	びょ
bya	byi	byu	bye	byo
ぴゃ	ぴぃ	ぴゅ	ぴぇ	ぴょ
руа	руі	pyu	руе	руо
てゃ	てい	てゅ	てえ	てょ
tha	thi	thu	the	tho
ふや	ぶい	ふゆ	ふえ	ふょ
fya	fyi	fyu	fye	fyo
ふぁ	ふい	131	ふえ	ふぉ
fa	fi	fu	fe	fo
うぁ	うい	う゛	う゛ぇ	ゔ゙ぉ∗
ヴぁ	ヴぃ	ヴ	ヴぇ	ヷぉ∗∗
va	vi	vu	ve	VO
あ	L 1	う	え	お
la	li	lu	le	lo
せ	L 1	Þ	え	よ
lya	lyi	lyu	lye	lyo

*ATOK11の場合 **Microsoft IME 98、MS-IME97の場合





英字

ACアダプタの接続36
Alt+
BackSpace+46
Enter+
Microsoft Windows 95
ファーストステップガイド40
Num Lock 50
Product ID 40,49
Product IDの入力 49
ValueStarの設定
Windowsの終了

あ行

アース線	32
アース線の接続	32
一太郎	53

か行

キーボードの接続 1	15
クリック	47
結露	. 2
コンセント	34

さ行

サブウーファ	22
使用許諾契約	48
スクロール	48
スピーカシステムの接続	21
セットアップ	41

た行

ディスプレイ	
ディスプレイの接続	
電源ケーブルの接続	
電源スイッチ	40,55,56
電源の取り方	7
電源を入れる	
電源を切る	
電話回線の接続	

な行

名前の入力		46
-------	--	----

は行

パソコンの接続 14	~38
パソコンのセットアップ	~ 60
パソコンの置き場所	2~6
パソコンの置き方	8
フラットパネルスピーカ	21

ま行

マイクロホンの接続	20
マウス	17,43
マウスの接続	17
マウスの動かし方	43
モジュラーケーブル	28
文字を打ち間違えたら	46

6行

ランチ-NX	53
ローマ字のつづり方	64

わかる、できる、役に立つ!!





初版 1998年6月 NEC P



